

IPNU

キャンパスネット



地域で地域住民とともに学ぶ

今年も学生は地域をフィールドに元気に活躍し、住民との交流をとおして、地域の暮らしや文化を学び、生活面から人々と家族・地域を支える看護の視点を養っています。これからも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

2014年10月12日(日)

かほく市防災訓練

(災害看護論履修4年生)

トリアージ訓練の模擬患者役、
応急処置や心肺蘇生訓練のアシ
スタント、ボランティアセンター
設置訓練などを実施しました。



2014年10月11日(土)~12日(日)兵庫県立大学
全国公立大学学生大会に参加

(災害ボランティアサークルふたば所属学生2名)
各大学の学生によるさまざまな活動のポスター発
表やワークショップ「大学・地域における学生・教
員・職員の理想的な協働を考える」に参加しました。



「看護大生が考案した 冬のぼかぼか薬膳」

能登町ふるさと振興課から薬膳料理メニューの提案依頼があり、学生らが「冬限定薬膳メニュー」6品(サラダ、能登牛の野菜ロール、寒ぶりのしゃぶしゃぶ、キッシュ、ごはん、デザート)を考案し、1月中旬から3月下旬まで能登町の宿泊施設にて提供されました。



2015年2月21日(土)

「大学・地域連携アクティブフォーラム」成果活動報
告会(大学コンソーシアム石川主催)

『限界集落発「生活ケアモデル」の創造-「コミュニ
ティ・カフェ」を通じた互恵的協働社会の実現-』最優秀
賞受賞(学生8名)

「コミュニティ形成を通じた壮年・老年期の生活習
慣病の予防」奨励賞受賞(学生8名)

目次

学生活動特集	韓国国立全北大学 MOU 締結	卒業研究
地域で地域住民とともに学ぶ	看護キャリア支援センターから	大学院
大学の主な動き	地域ケア総合センターから	図書館から
平成26年度卒業式・学位授与式	トピックス	卒業生の内定状況
卒業生の言葉(学部)	キャンパスライフ	国家試験結果
修了生の言葉(大学院)	夏期アメリカ看護研修	平成27年度キャンパススケジュール
学長表彰	この一年を振り返って	
秋のオープンキャンパス2014	基礎看護学実習Ⅰ	
ワシントン大学クリスマン教授来学	基礎看護学実習Ⅱ	
ヒューマンヘルスケア科目開講	第Ⅳ段階実習	

大学の主な動き

平成 26 年度卒業式・学位授与式

2015年3月13日（金）、平成26年度卒業式・学位授与式が挙行されました。看護学部94名、看護学研究科博士前期課程9名、博士後期課程3名が本学を巣立ちました。

石垣学長は、式辞の中で野村克也元プロ野球監督の「失敗」と書いて「成功」と読む”の言葉をたとえて、人生を生きる中で様々な苦難があるが、失敗することで人間は成長するのだと発想の転換をし、成長し続けていってほしいというメッセージを込めていました。送辞では在校生代表の米浜有佳里さんがこれまでの先輩との思い出から感謝の思いを、答辞では卒業生総代の池田美音さん、修了生代表の林静子さんが研究を進める中で苦しくも大きな実りのあった本学での学びを今後の研究活動に活かし看護の発展に貢献していきたいとの決意を述べました。後輩の合唱に送られ式場を後にする学生の表情は皆輝きに満ちていました。



卒業生の言葉 (学部)



4年前に本学の12期生として入学した当初は、まだ「看護」というものをとらえることができませんでした。日々、膨大な量の課題やテスト、実習に追われながら毎日が過ぎ、心が折れそうになる事もありました。しかし、困難に直面した時でも、実習で出会った患者さんや先生方、家族、そして多くの仲間の支えがあったことで乗り越えることができました。4年間の大学生活を振り返ると、長いようであっという間だったように思います。卒業後はそれぞれの学生が自分の選んだ進路で新たに歩み始めますが、本学で培った看護観を忘れずに、また関わってくれたすべての方々感謝しながら一層奮起したいと思います。ありがとうございました。

4年 池田 美音

大学の主な動き

修了生の言葉 (大学院)



金沢駅は北陸新幹線の開通に向けて開発され、その流れに触発されるように私自身も変化した三年間でした。臨床を離れて随分経ちました。あの時抱いた疑問に、博士論文という形で一つの解を示すことができ、うれしく感じております。これもひとえに先生方のご指導の賜物と、深く感謝いたしております。また、私はこの大学で互いを切磋琢磨できる仲間を得ました。これは研究者として大変幸せなことです。多くの人に支えられた三年間を基に、この先も足を止めることなく新たな問いに挑戦します。

博士後期課程 看護デザイン科学 永谷 幸子



振り返れば今から4年前、大学院への進学を決意し準備を進め3年前に進学が決定、そしてあっという間に修了の日を迎えました。

臨床での看護師を続けながらの学生生活は、決して「楽」ではありませんでした。しかし、日々新たな事を学び探求し、それを自分のモノとして吸収する「楽しさ」に溢れた3年間であったように思います。学ぶことの楽しさを再発見し、研究を臨床に還元できる喜びを味わうことができました。これからは更なる看護学の探求を目指し精進していきたいと思っております。

博士前期課程 成人看護学分野 南堀 直之

学長表彰

平成26年度学長表彰は、4年池田美音さん、千田茉莉乃さん、瀧本香織さん、中野明木さん、堀田朱里さんの5名が受賞されました。4年間の大学生活の中で積極的に行なったボランティア活動や学業、クラス運営などにおける功績が評価されました。おめでとうございます。



秋のオープンキャンパス2014

2014年10月25日(土)に秋のオープンキャンパスを開催し、高校生および保護者の方、約120名に参加していただきました。

学長からのメッセージに始まり、学生による講義や実習、夏期アメリカ看護研修を含めたキャンパスライフの紹介、教員による入試準備セミナーでは小論文と面接について具体的なポイントをお伝えしました。参加者のほとんどが今年度の受験対象者であり、入学試験に対する心構えはもちろんですが、大学で看護学を学ぶということ、将来の職業観等について考える機会になったのではないかと思います。



大学の主な動き

ワシントン大学看護学部 Noel J.Chrisman 教授来学

2014年9月9日（火）～9月19日（金）の11日間、ワシントン大学看護学部、Psychosocial & Community Health (PCH) のNoel J.Chrisman 教授をお招きし、教育・学術交流を深めました。大学院生に対する「国際看護特論」講義および学生への研究指導をはじめ、9月11日（木）には一般公開講座「Team Approaches to Current Challenges in Nursing Care」、9月17日（水）には学内教員向け特別講演「The community Health Nursing Program at the University of Washington」をご講演していただき、活発な意見交換が行われました。

Chrisman 教授は医療人類学者であり、折に触れ、異文化からの学びの豊かさや、パートナーシップの大切さについてもご教授いただきました。これらは、多職種との連携がますます求められる看護実践に活かせる学びとなりました。



ヒューマンヘルスケア科目開講

平成26年度後期から新しい科目「ヒューマンヘルスケア」がスタート（開講）しました！

本授業の目的は、地域における住民の生活や社会活動に継続的にかかわり、生活・健康に影響を及ぼしているさまざまな情報を整理する、さらに、かかわった地域の健康課題を明らかにし、住民と共に課題解決の方策を企画提案することを通して、保健・医療職としての課題解決能力の基盤を養うことです。

1年後期から4年前期までに履修します。新たな知見を得るばかりでなく、目的を同じくする仲間との繋がり・絆を深め、そして自己成長が期待されます。履修登録は、1年後期以降、各学年・学期で可能です。

韓国国立全北大学看護学部との覚書（MOU）締結

2014年11月17日に石川県立看護大学と韓国全北大学看護学部との間で教育や学術面での交流及び協力を推進するための覚書を締結しました。

石川県立看護大学では、グローバルな人材育成のため、来年度に学生の韓国派遣研修を企画しており、その研修先として石川県の友好交流地域である韓国全羅北道から国立全北大学の紹介を受けました。同大学看護学部と研修事業の調整を進めていた中、先方より本学との覚書締結の要請があり、このたび締結したものです。

今後、教職員・研究者及び学生の交流、学術的資料・出版物及び情報等の交換、共同研究や学術会議の実施などについて協力を推進及び発展させるよう努力します。

看護キャリア支援センターから

感染管理認定看護師教育課程 1 期生 30 名が修了

2015 年 2 月 18 日に感染管理認定看護師教育課程 1 期生 30 名全員が修了式を無事迎えることができました。2014 年 7 月 16 日から 7 か月間、「学びの三位一体」を合言葉に、30 名ともに熱く学び続けました。履修生は、演習では「患者を感染から守るために」を原点に、内容の深い濃いディスカッションを時の経つのも忘れ行い、実習では実習指導者である感染管理認定看護師の活動する姿から、課題が見え始め、的確かつ具体的な感染管理プログラムを立案することができました。これから臨床現場に戻り、この感染管理プログラムをさらに自施設に沿ったものにし、実施していくことを期待しています。

苦楽をともにした履修生 30 名は、2015 年 5 月に日本看護協会の「認定審査」を受けます。晴れて感染管理認定看護師になることを願っています。

看護キャリア支援センター 准教授 石川倫子



地域ケア総合センターから



アクティブシニア講演会

2015 年 3 月 18 日(水)に「長寿社会に生きる」と題して、秋山 弘子先生（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）の講演会を開催しました。「家族に迷惑をかけずに一生を過ごしたい」「楽しい老後でありたい」という超高齢化社会のニーズに応じて、高齢者が生き生きと生活するための秘訣を、具体例をあげてお話いただきました。参加者からは、楽しく、分かりやすく参考になったと好評でした。

（参加人数：約 230 名）

トピックス

専門看護師（CNS）認定審査合格

2014 年 12 月 11 日に第 24 回専門看護師認定審査合格者が発表され、本学 CNS 課程修了者 2 名が合格しました。本学修了者の CNS は、今回の合格者を含め、合計 17 名となりました。

がん看護専門看護師 佐伯 千尋さん（平成 25 年度修了）

老人看護専門看護師 森垣こずえさん（平成 19 年度修了）

キャンパスライフ

平成 26 年度夏期アメリカ看護研修

2014年8月26日～9月8日の2週間にわたり、夏期アメリカ看護研修がワシントン州シアトルで行われ、学生21名（3年15名、2年6名）が参加しました。

学生たちはホームステイをしながら、ワシントン大学看護学部の先生による講義「アメリカのナース（NS）の役割・教育・保健医療システムについて」や英会話クラスの受講、保健医療・福祉施設の見学などの充実したプログラムに参加し、アメリカの保健・医療・福祉の考え方に十分触れ、日本の保健・医療・福祉についてさらに興味・関心が高まったと思われまます。今回の貴重な体験は、今後の学生生活や将来の仕事などに活かされることと期待しています。



夏期アメリカ看護研修に参加して

夏期アメリカ看護研修は、毎日新しい発見があり、様々なものに刺激を受けた2週間でした。

ワシントン大学の講義では、アメリカと日本の医療制度や看護の違い、その背景を学びました。施設見学では、対象の特性や個別性に合わせたケアやサービス、環境の重要性を学びました。また、医療従事者の技術、チームワークの向上のために行われる様々なシミュレーション（気管挿管、分娩等）は、初めて体験したものもあり、興味深かったです。

初めはホームステイに不安や緊張がありましたが、ホストファミリーはとても温かく、安心して日本と違った生活を楽しむことができました。英語のレッスンやホストファミリーとの会話、日々の生活からは、失敗を恐れずに積極的に英語を話すことの大切さを学びました。現地の人と英語でコミュニケーションがとれたときは嬉しく、自分の自信にもつながりました。

今回の研修では、貴重な経験することができ、毎日が充実していて本当に楽しかったです。学んだこと、感じたことを大切に、今後活かしていきたいと思ひます。

3年 立中 由里子

この1年を振り返って

基礎看護学実習 I



私が本学に入学してから一年が経とうとしています。大学の講義は大変興味深く、私は看護職者となるべく日々勉学に励んでいます。私たちにとって初めての臨地看護学実習である基礎看護学実習 I は大変有意義な経験となり、この一年で最も印象に残っています

実習初日に実習先の病院に到着した時、今まで入院や見舞いで行っていた病院とは少し違う感じがしました。この実習が看護職者になるための第一歩と思い、期待と不安に胸を膨らませ実習に臨みました。実習では看護師さんや患者さんとお話するうちに不安はすぐに解消され、実習へ行くのが楽しみになりました。

基礎看護学実習 I では観察が主でしたが、2年生の夏には実際に看護援助を行う実習があるので、この実習で経験し、学んだことを十分に活かしていきたいです。

1年 飯田 真一郎

この1年を振り返って

基礎看護学実習Ⅱ



1年の看護学実習のときにも病院で患者さんを受け持ちましたが、2年の実習になると決定的に異なるのは、その受け持った患者さんに対して、看護計画に基づいて何らかの看護援助、アクションを取るという点です。また、その看護計画を成り立たせるための根拠として、主に12項目にわたる情報を収集しなければなりません。学生一人一人がそれぞれ受け持つ患者さんによって情報の重要性は変化していくこと、それにより成り立つ看護計画、看護援助として例えば「足浴」など同じ行為であっても、目的や重要視するポイントが異なってくることを学びました。私たち学生は一人の患者さんと長く向き合い、十分に時間を使うことができますが、看護師には素早く患者さんの重要な情報を収集し、最適な看護計画を成り立たせる能力が必要であると感じました。

2年 高見 藍

第Ⅳ段階実習



第Ⅳ段階実習では、3年次前期までに学んだ知識や看護技術を臨床の場で活かして様々な学びを得ることが出来ました。受け持たせていただいた方へ看護ケアを計画し、提供していくという過程において、その方の全身状態をアセスメントするだけでなく、コミュニケーションをとり患者さんの思いを汲み取ることで、過去・現在・将来に渡ってその方が健康的に生活していけるような良い看護を提供できる、と実感することが出来ました。また実習を通して自身の看護観を見つめ直し、自身の課題を発見することで、向上心を持って実習に取り組むことが出来たと感じます。この実習で経験したことを活かして、今後の分野別実習や統合実習に望み、看護師としての基礎を築いていきたいです。

3年 上田 桃子

卒業研究



私は認知症の研究を行いました。卒業研究を通して、先行研究を踏まえた研究計画の立案から、研究結果の発表までの基本的な流れに沿った研究方法について学ぶことができました。それだけでなく、対象からより正確なデータを取ることの難しさや、得られたデータを分析解釈することの難しさなどの課題も得られました。これらの学びは、臨床における実践にも活かしていきたいと考えています。

4年 藤野間 剛

大学院



この一年は、私の一生のうちで宝となる一年となったように思います。振りかえってまず感じるのが、「自分で作っていた限界って超えられる」ということです。働きながらの大学院生活は大変ではありましたが、その状況であったからこそ今までの自分を振りかえる良い機会となり、新しい自分にも出会えました。さらに、産科での経験しかない私にとって他分野の同級生の方々との出会いは、看護師としての世界を広げてもらい、私の心の宝となっています。また、あと一年、修士論文作成に向けてがんばりたいと思います。

博士前期課程1年 女性看護学分野 小西 香名映



団塊世代高齢者の健康づくりをテーマに研究に取り組んでおり、地域まるごと健康にするのが夢です。論理的な考え方や研究の組み立てに試行錯誤の日々です。いつか博士課程に行きたいと思いつつ随分間が空いたので学業と仕事の2足のわらじは思いの外大変ですが、職場の協力もあり指導の先生方に背中を押していただきながら進んでいるところです。同じように志す多くの仲間の学ぶ姿勢から刺激をたくさん受けて改めて自分も頑張ろうと思える環境にあることに感謝し毎日ちょっとでも前進できたらと思っています。

博士後期課程1年 コミュニティケア・看護デザイン科学分野 米澤 洋美

図書館から

企画展について

図書館では、年2回の企画展示を実施しています。平成26年度は難病を家族の支えによって乗り越えた手記や、がん患者の体験記等65点を集めた「闘病記」展を行いました。また、新入生を対象に「あなたのスタート」新生活応援-暮らし始める編-、同じく-学び始める編-を展示し、好評をいただきました。

平成27年度は「大学生になったら洋書を読もう」と題して、日本作家の書いた著作とその翻訳本を並べて、利用していただく展示を予定しています。ぜひ、図書館にお立ち寄りいただき、作品を手にとってご覧ください。



卒業生の内定状況

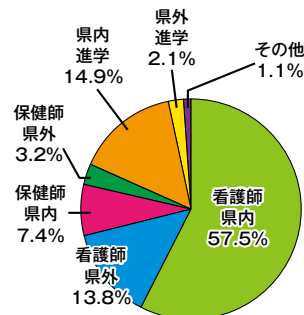
3月12日現在の就職内定・進学状況は次のとおりとなっております。

<県内就職内定・進学先>

- 【看護師】 石川県立中央病院、金沢大学附属病院
JCHO 金沢病院（旧 金沢社会保険病院）、金沢医科大学病院
金沢医療センター、金沢赤十字病院、公立松任石川中央病院
市立輪島病院、金沢市立病院、医王病院、城北病院
- 【保健師】 石川県、金沢市、七尾市、加賀市、津幡町、石川県予防医学協会
- 【進学】 金沢大学養護教諭特別別科、金沢大学大学院保健学専攻助産学分野
石川県立看護大学大学院

<県外就職内定・進学先>

- 【看護師】 富山大学附属病院、福井大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院
名古屋第一赤十字病院、東京慈恵会医科大学附属病院、埼玉県立循環器・呼吸器病センター
神戸市立医療センター中央市民病院、兵庫県立尼崎病院、船橋総合病院
北里大学病院、がん研有明病院
- 【保健師】 愛知県田原町、福井県鯖江市、長野市
- 【進学】 新潟大学養護教諭特別別科



第12期生内定状況 (2015年3月現在)

国家試験結果

平成26年度看護師・保健師国家試験合格状況(第12期生の状況)

区分	卒業生	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
看護師	94名	85名	83名	97.6%	95.5%
保健師	94名	94名	94名	100.0%	99.6%

平成27年度 キャンパススケジュール

前 期		後 期	
入学式	4月 3日(金)	授業開始	10月 1日(木)
ガイダンス	4月 6日(月)～4月 7日(火)	履修登録受付	9月 24日(木)～10月 6日(火)
健康診断	4月 6日(月)～4月 7日(火)	大学祭(看大祭)	10月 24日(土)～10月 25日(日)
授業開始	4月 8日(水)	秋のオープンキャンパス	10月 24日(土) 予 定
履修登録受付	4月 6日(月)～4月 14日(火)	冬季休業	12月 23日(水)～1月 4日(月)
開学記念日	5月 29日(金)	補講・試験	2月 10日(水)～2月 19日(金)
夏のオープンキャンパス	7月 18日(土) 予 定	春季休業	2月 20日(土)～
補講・試験	7月 30日(木)～8月 7日(金)	卒業式・学位授与式	3月 19日(土) 予 定
夏季休業	8月 8日(土)～9月 30日(水)		
夏期アメリカ看護研修	8月 25日(火)～9月 7日(月)		

石川県立大学法人



石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科

ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319
URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県立大学法人に帰属します



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。